

神のバトン賞 入賞者紹介

第15回山之口獏頭彰

県内の小中高校生を対象にした詩の賞「第15回神のバトン賞」(琉球新報社主催)の受賞者が決まった。同賞は県出身の詩人、山之口獏の生誕100年を記念して創設された。今回は昨年度の3倍の1258作品の応募があった。神のバトン賞に選ばれたのは、高校生の部が古波津勇人さん(沖縄ろう学校高等部3年)、中学生の部は石塚大久海さん(屋我地ひるぎ学園9年)、小学校高学年の部は金城孝哉さん(西原南小4年)、小学校低学年の部は多和田美月さん(天久小3年)だった。佳作には各部門で2作品ずつ計8作品が選ばれた。表彰式は26日午後1時半から那覇市天久の琉球新報社で開催する。

表彰式 26日午後1時半 琉球新報社



神のバトン賞
古波津 勇人
(沖縄ろう学校高等部3年)

手話を使うと楽しくなる

手話の「ありがどう」はお相撲さんの手刀

ほつぺをグーでなぞるぞ。」「ネ」

親指、人差し指で作った〇をめぐらぬようにぐるぐる」探す」

ほら。手話はみんなの近くにある

手話は手だけの言葉じゃない

手話は本当は「手と顔の言葉」

楽しいときは楽しい顔

辛いときは辛い顔

怒るときは怒る顔

手話を使うと楽しくなる

色々な顔の表情が出来るから

手話を使うと楽しくなる

静かな場所でも使えるぞ

手話を使うと楽しくなる

ボケ防止になるかも」

手話はみんなが使える言葉の1つ

手話ばかりでも使える言葉の1つ

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

手話を使うと楽しくなる

神のバトン賞

宮里 琉太

(西原南小4年)



弟のランドセル

黄金と黒にかがやくランドセル

ぼくのとほちがランドセル

入学式をまじランドセル

夢いっばいの弟の顔

ぼくの3年前とっしよだね

何でも聞いてねおしえるよ

新学期からは2人でいこう

体のよい弟だから

重くないかなランドセル

学校まで毎日歩くのかな

がんばれがんばれ1年生

うれしそうな弟のかお

なかく行く2人のランドセル

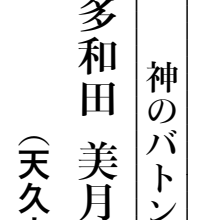
どっちが重いかな2人のランドセル

ぼくはおたすけマンになろう

小学校低学年の部

多和田 美月

(天久小3年)



親子ってふしぎ

おあさんとおはあちゃんが、

話をしている。

だんだん、声が大きくなった。

「アツカをしてくれるの。」「と、

弟がきいた。

「話をしているだけだよ。」「と

おあさんがいった。

「じゃあ、また、あしたね。」「と

ドラがバタン強くしまつて、

おはあちゃんがでていった。

エレベーターのところで、

おいかけていった私に、

おはあちゃんがいった。

「おあさんは、仕事も、家事も、

あなたたちの世話も大変だから、

私の大切な娘をつかれさせないでね。」「と、

家にもどると、

おあさんが言った。

「おはあちゃんのいうことをちゃんときいて

つかれさせないでね。」「と、

同じようなことを言った。

ホッとしたら、

なんだかほなの奥が「じゅわ、じゅわ。」「と

と少し泣きだした。

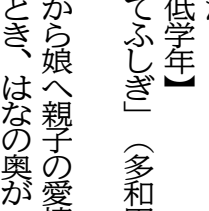
もう少し、その「じゅわ、じゅわ」を

感じていたかった。

神のバトン賞

安原 登生

(知念小6年)



下手で何が悪い

人間は誰も完璧ではないのだ

お前もできないことがあるだろう

俺ができないことがあるのは

当たり前だろう

俺にできて

お前にできないこともあるだろう

下手で何が悪い

人間は誰も完璧ではないのだ

お前もできないことがあるだろう

俺ができないことがあるのは

当たり前だろう

俺にできて

お前にできないこともあるだろう

下手で何が悪い

人間は誰も完璧ではないのだ

お前もできないことがあるだろう

俺ができないことがあるのは

当たり前だろう

俺にできて

お前にできないこともあるだろう

下手で何が悪い

人間は誰も完璧ではないのだ

お前もできないことがあるだろう

俺ができないことがあるのは

当たり前だろう

俺にできて

お前にできないこともあるだろう

下手で何が悪い

人間は誰も完璧ではないのだ

お前もできないことがあるだろう

俺ができないことがあるのは

当たり前だろう

俺にできて

お前にできないこともあるだろう

下手で何が悪い

人間は誰も完璧ではないのだ

お前もできないことがあるだろう

俺ができないことがあるのは

当たり前だろう

俺にできて

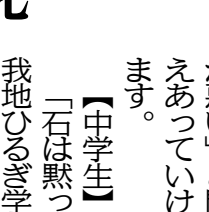
お前にできないこともあるだろう

下手で何が悪い

神のバトン賞

石塚 大久海

(屋我地ひるぎ学園9年)



石は黙っている

地面で蹴られても

石は黙っている

雨や風が吹いて 転がされても

石は黙っている

みんながかわられても

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

石は黙っている

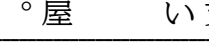
石は黙っている

石は黙っている

神のバトン賞

玉城 妃子

(石田中1年)



窓の景色

教室の窓の回つてには

もう1つ教室がある

鏡のように

先生や生徒のまねをしながら

元気よく

はいーはいー!

と手を挙げる

勢いよく

ガタガタと

と席を立つ

教室の外の廊下では見られない

ここからの景色

窓を開けたら

教室の外が

窓を閉めたら

教室の中が

見える 見える

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

窓は景色を映している

神のバトン賞

航羽 航羽

(大本小3年)

雨の音

ポツポツビシャビシャ

あそびてる

おにぎりしてあそびてる

ザーザー

にげろにげろ

わめいてる

おにのかみなり

コロコロコロ

おいかけろ

みんなであそんで

楽しそう

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

ほくほくしてあそびたい

神のバトン賞

金城 柚輝

(玉城小3年)

ぼく

ペンをいたずらすると先生に

おこられる

ころころ

つみだいにびびる

とん・びびる

しんかんがえる

ウーン・ウーン

なかなかおもいつかない

ゲームするぞ

おいかけろ

みんなであそんで

楽しそう

ほくほくしてあそびたい